

平成 30 年度

神 奈 川 茗 溪 会 総 会

会 誌



目 次

1 神奈川茗溪会会則	1
2 平成 30 年度 神奈川茗溪会役員等	2
3 平成 30 年度 神奈川茗溪会総会次第	3
4 平成 29 年度 神奈川茗溪会事業報告並びに会計報告	4
5 平成 30 年度 神奈川茗溪会事業計画並びに予算 (案)	5
6 平成 30 年度 神奈川茗溪会講演会次第	6
7 平成 30 年度 神奈川茗溪会懇親会次第	7
資 料	
○一般社団法人茗溪会 平成 30 年度定時総会資料	
・平成 30 年度 定時総会次第 (資料 1)	8
・理事長挨拶 (資料 2)	9
○神奈川県教員を目指す筑波大学生に対する支援について (資料 3)	10
○宣揚歌等	

神奈川県茗溪会会則

第1章 総則

第1条（名 称）本会は、神奈川県茗溪会と称する。

第2条（目 的）本会は、会員相互の親睦をはかり、一般社団法人茗溪会との連絡を保つことを目的とする。

第2章 事業及び組織

第3条（事 業）本会は、前条の目的を達成するため、毎年1回総会を開く外、随時、役員会、地区委員会等を開く。その他、本会の目的達成に必要な事業を行う。

第4条（会 員）本会は、神奈川県に在住する又は勤務する茗溪会員並びに客員をもって組織する。

第5条（役 員）本会に、会長1名、副会長若干名、事務局長1名、会計係及び庶務係各若干名、顧問若干名を置く。

2 会長は本会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は会長を補佐し、会長に事故のあるときは、その代理をする。

4 事務局長は、会計係、庶務係を統括し、会計、庶務の事務にあたる。

第6条（役員の選出及び任期）会長、副会長は、総会において会員より互選する。

2 事務局長、会計係、及び庶務係は、会長よりそれぞれ指名委嘱する。

3 顧問は、総会で推薦されたものがこれにあたる。

4 役員の任期は、2年とする。但し、留任を妨げない。

5 欠員を生じた時は、役員会で次期総会まで代行者を委嘱することができる。委嘱された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

第7条（地 区）本会の運営を円滑にするために、次の5地区を設け、各地区に地区委員1名以上を置く。

川崎地区（川崎市）

横浜地区（横浜市）

横三・鎌湘地区（横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、三浦郡、茅ヶ崎市、藤沢市、高座郡）

平秦・県西地区（平塚市、小田原市、中郡、足柄上郡、足柄下郡、南足柄市、秦野市、伊勢原市）

北相地区（厚木市、海老名市、綾瀬市、大和市、座間市、相模原市、愛甲郡、神奈川県外）

第3章 会計

第8条（会 費）会員は、会費として毎会計年度ごとに1,000円を負担する。

第9条（会計年度）本会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第4章 雑則

第10条（顕 彰）会員にして、国等により表彰された者には、記念品を贈ることができる。

第11条（事務局）本会は、別に定める場所に事務局を置く。

第12条（細 則）本会会務の執行に関する必要な細則は、役員会の議決を経てこれを別に定める。

附 則 本会則は、平成20年度総会の日より施行する。

附 則 本会則は、平成24年度総会の日より施行する。

平成30年度 神奈川茗溪会役員（案）

会 長 大畑多津雄 (s52 教大数)

副 会 長

会長代行 加藤 充洋 (s56 筑一社)

行政担当 小泉いづみ (s51 教大体)

林 忠 (s58 筑一自)

学校担当 出井 善次 (s51 教院農)

佐藤 到 (s57 筑三社工)

企業担当 山崎 紀彦 (s53 教院農)

中道 徹 (s58 筑大生)

地区担当 望月 正大 (s51 教大数)

山田 和彦 (s53 教大農)

顧 問 嵐 實 (s29 教大農)

指宿 良昭 (s30 教大教)

宮原 孝雄 (s30 教大体)

小堺 洋 (s31 教大農)

小山 和夫 (s33 教大教)

杉山 明和 (s33 教大動)

進藤 隆博 (s34 教大地)

中島 正徳 (s34 教大西)

尾上 惣一 (s35 教大國)

山田 勉 (s36 教大体)

高見澤 隆 (s37 教大体)

門倉 正二 (s38 教大國)

川田 孝一 (s39 教大農)

常木己喜雄 (s39 教大体)

京野 勝 (s40 教大農)

齋藤 俊英 (s40 教大哲)

須山 英治 (s40 教大日)

石塚 崇 (s41 教大農)

落 信久 (s43 教大体)

早野 通哲 (s43 教大國)

矢島 博 (s45 教大体)

大島 恵子 (s46 教大植)

佐々木悦子 (s46 教大体)

鈴木 彰 (s49 教大地)

本木 幹雄 (s50 教大健)

西村宗一郎 (s51 教大植)

坂本 紀典 (s51 教大健教)

瀬木 明 (s52 教大応数)

矢野 正人 (s53 教院農)

地区委員

川崎 西村宗一郎 (s51 教大植)

横浜 佐々木悦子 (s46 教大体)

横三・鎌湘 鈴木 彰 (s51 教大地)

平秦・県西 細谷 俊一 (s47 教大生化工)

北相 大島 恵子 (s46 教大植)

南 敏章 (s52 教大数)

望月 正大 (s51 教大数)

瀬木 明 (s52 教大応数)

山田 和彦 (s53 教大農)

本木 幹雄 (s50 教大体健)

事 務 局

事務局長 大石 進 (s56 筑大体)

庶務係 添野 龍雄 (s57 筑二農林)

総会事務担当 西塚 祐一 (s55 筑体) 山本 栄一 (s60 筑一人文)

中野久美子 (s57 筑体) 石川 裕子 (s57 筑二人間)

市川 道伸 (s58 筑一人文) 佐々木千代美 (s62 筑院芸)

広報記録担当 堤 誠一 (s55 筑二人間) 佐藤 教道 (s56 筑一人文)

吉川 亮 (s60 筑二比較)

会 計 係 掛原 豊 (s54 筑二農林)

会費管理担当 中弥 貴晴 (s49 教大農化)

名簿管理担当 三橋 史朗 (s54 筑一自然) 玉井 正史 (s56 筑一人文)

山本 聡 (s60 筑院教育)

会計監査 細谷 俊一 (s47 教大生化工)

南 敏章 (s52 教大数)

【一般社団法人茗溪会役員等】

理 事 川田 孝一 (s39 教大総農) 矢野 正人 (s53 教院農)

代 議 員 佐々木悦子 (s46 教大体) 大畑多津雄 (s52 教大数) 大石 進 (s56 筑体)

本木 幹雄 (s50 教大健) 山崎 紀彦 (s53 教院農) 中道 徹 (s58 筑二生)

*敬称略。学科等につきましては、本部の名簿表記に準じさせていただきました。

平成 30 年度

神奈川茗溪会総会

日 時 平成 30 年 7 月 28 日 (土) 11 : 00 ~ 12 : 00

会 場 ローズホテル横浜 2 階 ボールルーム

次 第

司会 山崎 紀彦

1 開会の辞 望月 正大

2 挨拶

会長挨拶 矢野 正人

来賓挨拶 全国理事 川田 孝一

3 議 事

《協議事項》

第 1 号議案 平成 29 年度 神奈川茗溪会事業報告並びに会計報告

第 2 号議案 平成 30 年度 神奈川茗溪会役員 (案)

第 3 号議案 平成 30 年度 神奈川茗溪会事業計画並びに予算 (案)

《報告事項》

・一般社団法人茗溪会 平成 30 年度定時総会報告

・その他

4 閉会の辞 本木 幹雄

(敬称略)

第1号議案				
平成29年度 神奈川茗溪会事業報告並びに会計報告				
1 事業報告				
1	会員状況	本部登録会員数 3717 (正会員数1247) 案内発送者数 957 (事務局15を除く)		
2	総会	7/22 (土) 出席者数46 (懇親会出席者48)		
3	事業等	①公益事業 4/27 (木) 筑波大学で神奈川県教員採用説明会を開催、8/5 (土) 6 (日) 教員採用2次試験対策指導 ②支部活性化事業 会報『茗溪かながわ』第10号、11号発行、10/30(月) 第1回神奈川茗溪会親睦ゴルフコンペ、11/18 (土) 第6回若手交流会、12/16(土) 校長・副校長・教頭・総括教諭・行政職の会		
2 会計報告				
1 収入の部				
(円)				
	科目	平成29年度	平成28年度	増減
1	前年度繰越金	40,469	12,576	27,893
2	会費(振込手数料を除く)	271,140	277,860	-6,720
3	懇親会費	432,000	459,000	-27,000
4	本部補助等			
	本部会費納入手数料	91,350	101,850	-10,500
5	講演会補助(総会)	50,000	50,000	-
6	総会開催お祝い金	10,000	10,000	-
7	雑収入	0	50,000	-50,000
	合計	894,959	961,286	-66,327
2 支出の部				
(円)				
	科目	平成29年度	平成28年度	増減
1	総会・懇親会費	367,840	450,900	-83,060
2	会議費	400	600	-200
3	通信費	306,240	308,317	-2,077
4	事務費	1,102	1,302	-200
5	交流会等補助	25,000	25,000	-
6	会誌・会報印刷費	135,698	134,698	1,000
	合計	836,280	920,817	-84,537
3 残額				
(円)				
	科目	平成29年度	平成28年度	増減
1	残額	58,679	40,469	18,210
残額58,679円を次年度に繰り越します。				
神奈川茗溪会		会計	中弥貴晴	掛原 豊
3会計監査報告				
平成29年度神奈川茗溪会の収支決算について照合監査したところ、関係諸帳票等いずれも適正に処理されていることを認めましたので報告します。				
平成30年 月 日				
		会計監査	細谷 俊一	
			南 敏章	

第2号議案

平成30年度 神奈川茗溪会事業計画並びに予算（案）

1 事業計画

1	計画のねらい	①茗溪会本部との連携を密にし、茗溪会組織の活性化に寄与するよう努める。 ②副会長の機能を促進し、会員相互の交流を図る組織づくりに努める。
2	事業の内容	①名簿整理による会員の把握 ②公益事業 筑波大学生及び茗溪会会員に対するキャリア支援、講演会の開催 ③支部活性化事業 会報の刊行、各種交流会を支援

2 予算

1	収入の部				(円)
	科 目		平成30年度	平成29年度（実績）	増減
1	前年度繰越金		58,679	40,469	18,210
2	会費（振込手数料を除く）		260,000	271,140	-11,140
3	懇親会費		430,000	432,000	-2,000
4	本部補助等	本部会費納入手数料	90,000	91,350	-1,350
5		講演会補助（総会等）	50,000	50,000	-
6		総会開催お祝い金	10,000	10,000	-
7	雑収入		15,000	0	15,000
合計			913,679	894,959	18,720
2	支出の部				(円)
	科 目		平成30年度	平成29年度（実績）	増減
1	総会・懇親会（会場費等）		410,000	367,840	42,160
2	会議費		400	400	-
3	通信費（総会案内、会報発送費等）		320,000	306,240	13,760
4	事務費		1,102	1,102	-
5	交流会等補助		35,000	25,000	10,000
6	会誌・会報印刷費		147,177	135,698	11,479
合計			913,679	836,280	77,399
			神 奈 川 茗 溪 会		
			会計 中弥 貴晴 会計 掛原 豊		

平成 30 年度

神奈川茗溪会 講演会

日 時 平成 30 年 7 月 28 日 (土) 12 : 30 ~ 13 : 30
会 場 ローズホテル横浜 2 階
ザ・グランドローズボールルーム WEST

次 第

司 会 加藤 充洋

- 1 講師紹介
- 2 講 演

講師 野中 忠彦 氏

演題 『日本初の大型ロケット打ち上げクルーの一員として』

Memo

《講師略歴》

昭和 37(1962)年 東京教育大学理学部物理学科 入学

昭和 41(1966)年 卒業後、日本電子開発株式会社入社(創設第 1 期として入社)NEC,NTT 等で OS 開発に従事

昭和 48(1973)年 NASDA(宇宙開発事業団)に出向

昭和 61(1986)年 (株)ソフトウェアコンサルタント取締役

平成30年度

神奈川茗溪会懇親会

日 時 平成30年7月28日(土) 13:30~15:30

会 場 ローズホテル横浜2階
ザ・グランドローズボールルームA

次 第

司会 中野久美子

- | | |
|------------|-------|
| 1 開会の辞 | 市川 道伸 |
| 2 挨拶 | 大畑多津雄 |
| 来賓挨拶 | 川田 孝一 |
| 3 乾 杯 | 矢野 正人 |
| 歓 談 | |
| 4 宣揚歌及びエール | 大石 進 |
| 5 閉会の辞 | 細谷 俊一 |

(敬称略)

一般社団法人 茗溪会 第7回

平成30年 定時総会

次 第

平成30年5月24日(木)
午後1時30分開会
茗溪会館2階「茗溪」の間

1 開 会

2 理事長挨拶

3 来賓祝辞

4 議 事

(1)議案

第1号議案 平成29年度事業報告、決算書類及び監査報告の承認について

- ①事業報告
- ②貸借対照表
- ③正味財産増減計算書
- ④監査報告書
- ⑤公益目的支出計画実施報告
- ⑥公益目的支出計画実施報告に関する監査報告書

第2号議案 平成30年度事業計画(案)及び予算(案)について

第3号議案 役員の選出について

(2)報 告

- ①茗溪創基150年記念事業について
- ②財政健全化への提案
- ③茗溪会拡充キャンペーン最終報告
- ④地域組織等活動の活性化について
- ⑤茗溪・筑波産業人倶楽部規約
- ⑥その他

5 閉 会

6 諸 連 絡

- (1)会員登録・会費納入状況等について
- (2)各地域組織からの提出・報告・連絡文書について
- (3)各種提出書類(様式1～4)
- (4)その他

7 地域組織等ブロック別懇談

8 会員懇親会 総会終了後 茗溪会館4階「新泉・筑波」

平成30年度 茗溪会定時総会 ご挨拶(要旨)

茗溪会理事長 江田昌佑

本日は、一般社団法人茗溪会定時総会を開催いたしましたところ、ご多忙の中、全国各地からご参集いただき誠に有り難うございます。日頃、代議員の皆様には、地域組織等における茗溪会活動にご尽力を賜り、心からの敬意と感謝を申し上げます。

本会は、新法人に移行しての7年間、必要とされる構造改革や機能刷新に注力して参りました。当初から「茗溪会拡充キャンペーン」を全国展開して、基盤整備と充実を図り、次いで「レビューと中期将来計画」を策定し、本会運営の基本大綱として現在の歩みを進めています。

さて、ここで本会が当面する3つの課題について述べ、皆様のご理解とご協力をお願いしたいと存じます。

第1の課題 会員増、会費納入率向上について

本会の諸々の事業活動の中で唯一立ち遅れ、道半ばであるのが財政の健全化です。具体的には、『会員・年会費納入率の減少傾向』にあることです。本日、「拡充キャンペーンの総括的報告」がなされますが、昨年の会費納入率が9%(全国平均)に落ち込んでいます。また、年会費納入総額が約20年前のほぼ60%弱に減少しています。一日も早く、プラス・スパイラルに転換することが、本会の自助努力必須の要諦であることは言をまちません。

代議員の皆様には、この場をかりてお願いをいたします。各地域組織等におかれても、それぞれの組織等の実状に合わせて、会員増、年会費納入率向上へのお力添えを切望する次第です。

第2の課題 茗溪創基150年記念事業について

茗溪の創基は明治維新とともに歩調を併せて発展・寄与してきた歴史的経緯があります。2022年に茗溪創基150年を迎えるに当り、本年1月、本部理事会は“茗溪創基150年記念事業準備室”を立ち上げました。この事業の意義は、150年の歴史の中で、時代を乗り越えて本会が連綿と活動してきたことに対して敬意を表するとともに、茗溪の先達に思いを馳せ、レガシーを大切に、将来に亘り本会の新たな発展を期する意義ある記念事業を興すことにあります。茗溪の仲間に関わり、より絆を深める互助の事業として、また、次世代への伝統継承の事業として計画したいと考えています。代議員の皆様や各地域組織等からの企画の要望などを是非本部事務局の記念事業準備室にお寄せ下さい。これらの記念事業は、全国会員の皆様と共に茗溪の精神を共有しながら推進できるよう努めて参ります。

現在、前倒しの事業として2つの企画が進行しています。

- (1) 占春園再生プロジェクト
- (2) 茗溪・筑波産業人倶楽部の設立

第3の課題 茗溪・筑波産業人倶楽部の発足

現在、同窓の多数の方々が多様な業界で活躍されていますが、同窓会としてのネットワークが必ずしも十分でない実状です。産業界等を中心とした、情報交換等の互助事業を推進できる新しい中核的な組織の発足が、本年3月理事会で承認されました。将来の輝ける発展の礎石となることを希っています。

以上、本会の身近な課題等について縷々述べましたが、理事会は一丸となって本会発展のために渾身の努力をしております。

代議員の皆様、全国各地域組織等の皆様には、茗溪会の一層の発展のために、特段のご理解と更なるご協力をお願い申し上げます。

財政健全化への提案(要旨)

事務局長 高野力

茗溪会の活動の維持・充実には、財政の健全化が必要であり、そのためには、会員増・納入率アップが継続の力になることを掲げ、会員の皆様にご協力をお願いしたいと考えます。各地域組織では、担当の世話人を任命していただき、年間の目標を、例えば小組織では、3～5人、中・大組織では5～20人という形で設定し、今後、数年間は実施したいと考えます。

日常の活動中で、“季刊誌「茗溪」は届いているか？”という会話が、未入会会員や乙会員、住所が変わってしまって本部との連絡が切れている会員等々の発掘に有効な手掛かりになると考えます。

年度別会費納入者の状況

項目/年度	H25	H26	H27	H28	H29
納入者数(人)	6158	5523	5334	4922	4185
納入率(%)	13.8	12.3	11.6	10.7	9.0
フェロ-賛助(人)	1068	808	720	656	662

資料3.

神奈川県公立学校教員採用試験を受験される皆様

平成 30 年 5 月 9 日

神奈川県

会長 矢野 正人

ご案内

神奈川県は、神奈川県・相模原市公立学校教員採用候補者選考試験（以下「神奈川県教員採用試験」と略）を受験される皆様に以下のような支援を実施しますので、ご利用ください。

1 神奈川県教員採用試験アドバイザー

以下に紹介する方々は、茗溪の先輩です。神奈川県教職試験等について、相談等がありましたら、遠慮なく相談してください。

教科	氏名	卒年(学部等)	勤務先	mail-address
国語	宮代 哲彦	51 教大漢	神奈川県教育委員会	miyashiro.511@pref.kanagawa.jp
社会	加藤 充洋	56 筑一社	総合教育センター	katosenedoved@cloud.com
数学	望月 正大	51 教大教	神奈川県立大学	mochizuki@kait.jp
理科	細谷 俊一	47 教大農	神奈川県立大学	hosoya@ccy.kanagawa-it.ac.jp
英語	佐藤 敏道	56 筑人文	田奈高校長	norim_310310_norim@t.voda.fone.ne.jp
体育	大石 進	56 筑体	城山高校長	oishi-2pi@open-kanagawa.ed.jp
全般	大畑多津雄	52 教大教	神奈川県立大学	ohata@kait.jp
	矢野 正人	53 教院農	神奈川県立大学	yano@kait.jp

2 神奈川県教員採用第2次試験直前対策・指導

(1)対象者 神奈川県教員採用試験の1次試験通過者

(2)日時 平成30年8月1日(水)10:00~17:00

(3)場所 茗溪会館 5階会議室

住所 東京都文京区大塚1-5-23

連絡先 080-3155-8155(望月携帯)

(4)日程 10:00~12:00 模擬授業指導

12:45~14:45 面接指導

15:00~16:00 受験上の注意

16:00~17:00 面接指導

(5)当日持参するもの(各5枚)

○指導案 (模擬授業用 A4サイズ1枚を片面印刷)

○面接カード (一次試験通過者に配られます)

○自己アピール書 (一次試験通過者に配られます)

(6)申し込み方法 2次試験事前指導希望者は、その旨を以下に連絡してください。

連絡先 望月正大(神奈川県)

E-mail mochizuki@kait.jp 携帯 080-3155-8155

桐の葉（宣揚歌）

作詞 大和資雄
作曲 不明

(一)

桐の葉は 木に朽ちんより
秋来なば 先駆け散らん
名のみなる 廃墟を捨てて
醒めて立て 男の子ぞ我等

(二)

日の本の 教の庭に
いと高き 学舎ありと
人も知る 茗溪の水
よし涸れよ 濁さんよりは

(三)

年を経て 百年過ぎぬ
今ここに 水は涸るとも
新泉は 筑波の麓に
いざ起たん 若人われら

(四)

桐の葉は 筑波の庭に
いや繁り 三十年過ぎぬ
新しき 世紀を拓き
いざ行かん こぞりて吾等

(三) 番作詞 大山信郎
(四) 番作詞 北原保雄



「桐の葉」は大正8年の大学昇格運動の際に当時学生であった大和資雄氏によって作詞され、昔の応援歌の曲譜にのせて唱和され全校に広がっていきました。新聞紙に筆で「桐の葉は木に朽ちんより、...」と二節を一気に書き上げられた歌詞には「日本の教育を担う高等師範学校が尊重されないのであれば廃校も辞さない」という強い思いが込められています。

そして東京教育大学から筑波大学に生まれ変わる時、東京教育大学最後の学長となった大山信郎教授によって3番が作られました。

「(教育大のあった)東京大塚の地の歴史はここに終わるが、茗溪の歴史の流れは新天地筑波で永遠に続いてほしい」

そんな願いを込めた3番を加え、桐の葉の伝統は新生筑波大学に受け継がれました。

そして、開学30周年を迎えた平成15年に北原保雄学長が作詞した4番が加わり、今も多くの学生、同窓生に歌い継がれています。

(『筑波大学応援部WINS』より)

神奈川茗溪会

事務局 〒243-0018 厚木市中町3-3-17
神奈川工科大学 I Tビル

E-mail yano@kait.jp